

5月5日は「こどもの日」・5月1日は「母の日」

新緑がまぶしい季節、見上げると青い空のなかに、こいのぼりが気もち良き空に泳いでいます。草花の香りがうれしいのは、虫たちも同じですね。アオムシに、テントウムシ、ちょうちよに出会えるこの時期は、お散歩日和。生きものとの出会い、発見は、子どもたちのキラキラとした眼差しとの出会いです。

5月5日は「こどもの日」。「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」祝日です。「こどもの日」は、子どものためだけの祝日ではないのです。自分が「こども」として存在できていることをお母さんに感謝する日でもあるのです。

大人は、子どもたちの幸福を願うとともに、一度、子どもの権利や人格の尊重について考えてみませんか。そして、子どもたちは、お祝いされるだけではなく、お母さんに「生んでくれてありがとう」「元気で幸せでいてね」の気もちを伝えましょう。

5月のおすすめ絵本



『ぼくたち子ども宣言  
～世界中のおとなたちへ～  
中川ひろたか 文 田中靖夫 絵  
(自由国民社)

子どもから大人に向けて、要望を宣言。「人格の尊重」について大人と子どもと一緒に考える一冊

絶賛募集中「第9回 絵本の日」ワードin福岡

エピソード部門「6月30日締切」

みなさまの心に残る絵本のエピソード、大切な絵本のこと、ちょっと文字にしてみませんか。詳細は、スタッフにお尋ねください。中でも案内しています。

ペンギンクイズ番外編

来月6月2日、「プリアオキッズ」は13さいの誕生日を迎えます。毎年開催しているお誕生会で登場する絵本は、『ぺんぎんたいそう』。



齋藤 稔 作  
(福音館書店)

さて、モデルとなっているペンギンの種類は何でしょう。

BiblioHot 5



館長 水田祥代、発行責任者 本山茂夫、編集 木村宏二、記者 安藤真子

クイズのこたえ

「おおきなオウサマペンギンと、ちいさなケープペンギン」

作者の齋藤稔さんがペンギンを模写するため、最初に通ったのは上野動物園でした。東京の葛西臨海水族館や、横浜・八景島シーパラダイスにも行って、ペンギンの動きを観察して完成した絵本です。

(参照:「母の友」784号(2018.9))

今月のプリアオラボ「アニバーサリー絵本シリーズ展」

期間：5/2～5/31

(5/3～6、毎週木曜は休館)



5月の企画展は、刊行されてから長く読み継がれ、節目の記念日を迎えた4組の人気ものが集つ、「アニバーサリー絵本シリーズ展」です。大人にも懐かしい、愛しのキャラクターたちがラボでお待ちしています。

■フィンランドの作家トーベ・ヤンソンさんの「ムーミン」は、1945年に小説の第1作『小さなトロールと大きな洪水』が刊行されて80周年を迎えます。最初は「ムーミン」ではなかったのです。

■誕生70周年を迎えるのは、1955年オランダで生まれた「ミッフィー」です。作者のディック・ブルーナさんが名付けたオランダ名は「ナインチェ・ブラウス」ですが、英語で訳された「ミッフィー」の愛称で世界的に親しまれています。オランダから最初に国境を越えた日本での呼び名は「ちむぎやん」。

■日本生まれの「うさこちゃん」は、1970年に誕生したので、今年55周年になります。著者は、表紙に書かれている「わかやまけん」さん以外にも2人いる、共同制作されたお話です。

■2023年に50周年のお祝いをしたばかりの「アンパンマン」ですが、現在NHK朝ドラで、生みの親である、やなせ たかし夫妻をモデルにした「あんぱん」が注目されていますので、仲間入りしてもらいました。

司書 あん

「うさこちゃん」第1作



『ちいさな うさこちゃん』  
ディック・ブルーナ 文・絵  
いしいももこ 訳 (福音館書店)

「こぐまちゃん」一番人気



『しろくまちゃんのほっとけき』  
わかやまけん 作 森比左志 作  
わだよしおみ 作 (こぐま社)